

事務事業名		佐野休日・夜間緊急診療所運営支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり					担当係	地域医療係	担当課長名	川島紀昭	
	施策	2 地域医療体制の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 救急・高度医療体制の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	6873	一般	4	1	1	佐野休日・夜間緊急診療所運営支援事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業					市単独事業				
		任意的事業・義務的事業					任意的事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S50年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野休日・夜間緊急診療所運営費補助金交付要綱					
	実施方法	事業分類					支援事業				
		リーディングプロジェクト					該当なし				
					市長マニフェスト					1-8	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
市民の休日及び夜間における医療不安の解消を図るために、日曜・祝日及び夜間に急患の診療を行っている佐野市医師会附属佐野休日・夜間緊急診療所へ運営の支援として補助金を交付している。平成17年7月から小児科医師不足を補うために、小児の一次救急医療を充実させ、休日の昼間に小児科医師が常駐し、平日の夜間は内科医が小児患者を診察することになる。また、県の小児救急医療施設運営費補助基準の見直しもあり、県の補助対象となる。 *一次救急医療・・・手術や入院治療を必要としない軽度の怪我や病気の治療を担う。			<市の活動> 佐野市医師会附属佐野休日・夜間緊急診療所に補助金を交付するための事務(申請書の内容審査、交付決定、実績報告書の内容審査、補助金交付)。 佐野市医師会附属佐野休日・夜間緊急診療所運営協議会に出席し、運営に関する内容の協議を行った。 <団体の活動> 休日・夜間緊急診療所に来所した手術や入院治療を必要としない軽度の怪我や病気の患者の治療を行った。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			診療所開設日数	日	365	365	366			
			診療所受診者数	人	9,972	9,929	10,300			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			市人口	人	123,182	122,582	121,522			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
市民の休日及び夜間における医療不安の解消を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			休日における1日当たりの受診者数	人	79.9	79.4	79.4			
			夜間における1日当たりの受診者数	人	12.0	12.0	12.0			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市民が緊急時に安心して適切な医療が受けられる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			診療所受診者数	人	9,972	9,929	10,300	10,400	10,500	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円	6,049	6,049	6,049					
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	25,951	25,951	25,951					
	事業費計(A)	千円	32,000	32,000	32,000	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金補助及び交付金	33,000	負担金補助及び交付金	32,000	負担金補助及び交付金	32,000		
人件費	人	2	2	2						
のべ業務時間	時間	64	64	64						
人件費計(B)	千円	249	252	252	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	32,249	32,252	32,252	0	0				

事務事業名	佐野休日・夜間緊急診療所運営支援事業	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課	担当係	地域医療係
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和50年11月に休日緊急診療所が、医師会病院に設置され、その後、平成5年に夜間の在宅輪番制を廃止して休日緊急診療所内に移し、佐野休日・夜間緊急診療所となった。その診療所の運営のための補助金。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	核家族化が進み、子どもを育てている家庭での相談者がいなく、軽い病気でも二次救急病院に連れて行く傾向にある。 勤務医の高齢化、内科医の不足化が進んでいる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	佐野市医師会から、補助金の増額や、かかりつけ医、休日・夜間緊急診療所制度の市民への周知をするよう要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持につき対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	休日・夜間の急病に対応できる(一次救急医療)医療機関が確保され、必要なときに安心した医療を受けられることは、政策体系の地域医療の充実に結びついている。	
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	休日・夜間における市民の医療不安の解消と良質な医療の提供を目的としているため、市が運営の補助をしていくことは、妥当である。	
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	佐野市医師会の休日・夜間緊急診療所は、休日・夜間における市民の医療不安の解消を図るために行っているため、対象と意図は合っている。	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	救急医療の需要は年々高まる一方で、医療現場は慢性的な人材不足である。そのような状況で、市民の医療不安の解消を図るため、休日・夜間緊急診療所に対する財政的支援は必要であり、事業自体は補助金の交付が主たる事業なので、成果向上の余地はない。	
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名		
	類似事務事業はない	理由・改善案		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	事業費については、救急医療の不安解消のため初期救急医療体制を確保するためには、医療従事者の人件費等の費用がかかる。そのため、財政支援は必要であり削減はできない。 また、人件費については、運営協議会等への出席と必要な事務手続きが主なもので、削減の余地はない。	
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	診療所運営に対する補助金は定額補助であり、運営費の残りは診療所負担である。また、治療費は、治療を受けた患者負担となる。	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		市民の中で休日・夜間時における救急患者がいなくなったときに、この事業は終了できる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					